



**第 56 回 KL 日本人会年次総会 議事録 (案)**

開催日時：2020 年 8 月 29 日 (土) 午前 10 時 30 分～11 時 40 分

場所：KL 日本人会ホール

出席者：岡部 (0866/O-1167)、荒木(0001/A-0698)、万代 (M-1007)、甲斐中 (0118/K-2508)、  
児島(0026/K-2471)、香取 (0031/K-2474)、安部 (0002/A-0704)、  
伊藤 (0006/I-1269)、伊藤 (0003/I-1271)、大高 (0748/O-1156)、  
岡本 (0023/O-1154)、小沢 (0906/O-1243)、小田 (0078/O-1188)、  
小野澤 (0801/O-1205)、加藤 (K-0166)、川村 (K-1955)、木坂 (0754/K-2532)、  
熊谷 (K-1416)、小寺 (0184/K-2265)、阪口 (0013/S-1977)、定元 (0053/S-1913)、  
守護 (S-2066)、清水 (S-1586)、須田 (0024/S-2097)、高柳 (0319/T-1730)、  
瀧澤 (0370/T-1839)、團 (0022/D-0063)、濱本 (H-1103)、淵上 (F-0514)、  
堀口 (0040/H-1231)、松山 (0005/M-1759)、吉田 (0873/Y-1296)、柳井 (Y-1320)、  
神田(K-2468)、能代(N-1348)、松本(M-1697)

以上、第 1 ホール参加者 36 名 (議決権：60) (敬称略・順不同)

オンライン参加者 40 名 (議決権数 42)

※オブザーバー：かとれあ会佐藤会長、かとれあ会歳桃副会長 (2 名)

- 定足数の確認／開会 (柳井事務局長)  
開会に際し定足数の確認を行い、全体の総議決権数は出席者と委任状合わせて 169 があり、会則 7 条 2 項(a)に基づき本総会は適正に成立したとして開会が宣言された。  
出席者 (議決権数) は、理事の最大定員 (29 名) の 2 倍以上にあたる 36 名 (議決権：60)、オンライン出席者は、40 名 (議決権数：42) 開会までに事務局で受け付けた有効な委任状/議決権の数は 109 通であり、議長に委任 109 通、出席会員に委任 0 通であった。(最終的に確定した出席者数 76 名、委任状含む議決権総数 211)

- 議長の選出 (柳井事務局長)  
会則 9 条 (a) に従い、岡部会長が本総会の議長に選出された。

- (1) 第 55 回年次総会議事録案の審査 (岡部会長)  
会員の皆様へ 2019 年 7 月および 2020 年 7 月 24 日(総会案内時)に E-mail にて送付された議事録について、審査が行われた。

第 55 回年次総会議事録案は、意義なく原案通り承認された。

- (2) 2019 年度事業報告及び会員数推移報告 (岡部会長)

- ① 2019 年度事業報告 (要旨) (岡部会長)

岡部会長より各委員会の 2019 年度事業の総括報告がなされた。その概要は次の通り。

**総務委員会**

- ・会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の 1 週間前に招集し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。
- ・2019 年 4 月:筑波大学マレーシア分校開設に関するアンケート調査への協力

・2019年7月：「在マレーシア日本国大使館附属クアラルンプール日本人会日本人学校における高等部開設に係る要望書」の発出

#### **規約関係**

今後の規約変更の必要性についての議論を継続的に行っている。

#### **セカンドホーム関係**

子供の日、クリスマス会、新年会等、日本人会イベントへボランティア協力をおこなった。

#### **企画広報委員会**

会員の皆様に会館へ足を運んで戴き、楽しい時間を過ごして戴けるよう「子供の日」「秋の味覚を楽しむ会」「クリスマス会」3つのイベントを開催した。委員会として前年度の経験を踏まえ、より充実したイベントになるよう企画・運営、多くの皆様にご来館戴き好評を得た。

#### **会員関係**

「新規入会者の集い」は、2019年度も6回開催した。累計124世帯、292名の参加があり、入会者全体の約3割に達している。

#### **ニューズレター編集委員会**

月に1回ボランティアを含めた編集委員によるニューズレター編集会議を開催。その時期にあったコンテンツを検討、編集委員による取材活動、原稿の作成を行い、編集・校正作業を実施し、毎月初めに会員宛ニューズレターを発行した。コンテンツの見直しなどを行い、2020年4月号よりデジタル化しWeb版への移行を実施。

#### **財務委員会**

決算内容については、議題③収支報告ご参照

#### **バザー税制対応TF**

年一回開催するバザーからの売上金の寄付を目的とする非営利事業を行う日本人会慈善基金の免税の為に税制対応を行ってきた。在マレーシア大使館のご支援の下、財務省主計局と交渉を重ねた結果、2019年5月15日に、財務省より免税許可の通知を受領。2019年12月5日には無事に取消し通知を受領。バザー税制対応TFは役割を完了したため解散した。

会員数の減少傾向は続いており、また、MCOの影響で、例年に見合った新規入会者が期待できないことは収入面の課題。2020年度は、テナントの一部退去や、家賃の一部減免も予算に織り込む必要があるため、収入の変化に応じた支出計画としていく必要がある。IT2020プロジェクト完遂による内部管理の効率化や、不要不急な経費の見直し等により、引続き適正な予算運営を目指していく方針。

#### **クラブハウス委員会**

現クラブハウスは、1976年、1985年、1993年の3期にわたり建設されている。2005年の改修工事の際に官庁申請上の問題があることが2018年に発覚した。これらの対応として、2019年に認可取得の為に申請を行った。2019年10月：コンサルであるプラスPMから10月10日に結果報告を受け、第1候補となった発注候補先として承認した。今回の工事は、遵法化、耐久性（主に荷重制限是正）の向上が目的であり、12月に工事を終え、1月にSurau等の撤去を完了。

・2020年1月：斜面点検報告。斜面の状態に問題はないという調査結果であったことが報告された。但し、メインテナンス面（側溝の枯葉の除去、草むしり等）での改善の必要性を指摘されたことから、見回り回数を現状月1回から、月2回に増やし対応する予定。

・2020年3月：3月10日付 Certificate of Completion and Compliance (CCC)取得済。

#### **クラブハウス将来計画小委員会**

クラブハウスは1976年から50年後の2025年頃の建て替えを計画としていた。しかし、昨今の財政その他の要因もあり、延命させ2045年頃の建替えとなるよう現在は想定している。2045年頃までの延命のためには、更なる必要な改修費用（屋上防水の改修、設備の改修等）、建物構造、斜面補強構造、その他必要な補強工事費用を長期修繕計画し、確実に対応していく必要がある。（詳細は議題④新会館建設積立金についてを参照）

#### **店舗委員会**

1月16日、テナント店舗各位と懇談会を開催、意見交換を行った。各店舗の賃貸契約更新（20年4月～23年3月末）については、3月の理事会に上程し、基本方針として家賃と水道代は現状維持の方針であることで承認された。

3月、新型コロナウイルスの影響で、会館に足を運ぶ会員も減少傾向にあることから、COVID-19 緊急

支援策として、3%（6ヶ月）の値引きを実施することとした。

### **文化活動委員会**

- ・2020年3月末現在、部活動：19、同好会活動：33、合計：52の部・同好会が活動。
- ・2019年度の日本語弁論大会を国際交流基金に協賛。審査員を派遣。
- ・日本語講座12クラス、講習会（料理、パティック等）を開催。

### **スポーツ活動委員会**

- ・2020年3月末現在、部活動：13、同好会活動：11、合計：24部・同好会が活動。

### **学校委員会**

#### 1) 園児・児童・生徒数の推移

2019年4月現在の園児・児童・生徒総数は777名で、前年同月から増加した年間を通じては連年通り、増加傾向をたどり、2020年3月末時点では794名。

#### 2) 学校教育目標と教育の重点

2019年度の学校教育目標は、前年同様「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」とし、その“めざす学校像”は「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかったJSKL」、「めざす子どもの姿」は「元気で最後まで取り組める子、誰にでもやさしく出来る子、夢をもって世界にはばたける子」、「めざす教師像」は「優れた授業で勝負する教師、子どものよさを育て共に成長する教師、常に努力を惜しまない教師」を掲げ、チーム対応での教育活動を推進した。

#### 3) 学校経営3か年計画の実践

2018年度より取り組んでいる①ICT教育の充実、②英語教育の充実、③心の教育の充実からなる学校経営3か年計画も2年目を迎え、更なる強化を推進した。活動制限令にともなうオンライン授業の実施に際しては、ICT教育の充実を前倒しで進めてきたことが、少なからず役に立っていると考える。

#### 4) 2019年度（令和元年度）予算・決算

収入実績は生徒数が上振れし、予算を上回った。支出は、職員交替に伴う後任者の採用遅れや、教員数の減少等で人件費を中心に低下し、想定以上の黒字で着地することが出来た。

本年3月頃から始まったコロナ禍に伴う臨時休校措置に伴い、繁忙期である年度末から年度初めに掛けての学務や事務が停滞したが、ようやく学校も順次再開できた。教育省発信のSOPをしっかりと校内に定着させると共に、在宅勤務体制の整備に向けて万全を図りたい。

### **教育施設管理委員会**

- ・2019年5月：帝京マレーシアとの追加賃貸契約。新たに3教室とスラウ(男女各1)のスペースとして追加賃貸の要望あり。現さくらルーム、小会議室、カルチャールーム5を賃貸することで決定。
- ・2018年1月に帝京マレーシアと締結した会館使用に関する1年間の覚書につき、現状確認を実施。遵守されていなかった点(喫煙場所や駐車場の問題)の注意喚起を行い、来年度分の覚書を締結。

### **福利厚生委員会**

- ・2019年7月5日～7日：みんなのデンタルケア2019&子供の健康相談の実施、歯科215名、小児科54名、計269名が受診。JOMFは、2021年3月末にて財団解散を予定しており、本巡回事業も今回で最後となる。
- ・はぐくみ会18回実施、合計参加者141名。出産準備教室3コース実施、合計参加者29名。その他医療セミナー、ヘルストークなどを開催した。

### **日本人墓地維持管理委員会**

恒例の広島県呉市、浄土寺住職、念譽和尚の先導により秋の慰霊祭は在マレーシア日本大使ほか多数の会員参列のもとに2019年9月16日に開催された。春季慰霊祭は2020年3月8日に予定されていたが、新型コロナウイルスによる感染予防に配慮し中止となった。

### **ITシステム委員会**

2019年5月：開発業者及びPMO選定、2020年2月：ウェブサイト・リニューアルを実現。IT化プロジェクトは依然開発進行中であり、早期の実用化を目指す。

### **盆踊り実行委員会（2019）**

2019年7月20日（土）19:00より第43回盆踊り大会を開催。来場者数推定3万5千人超。大きな事故などなく成功裏に終了した。

### **バザー実行委員会（2019）**

2019年11月10日（日）第47回チャリティバザーをプルマンKLCCホテルにて開催。当日は来場

者約 2,000 人と盛況であった。バザー当日売上げ収益と皆様からの現金ご寄付とを合わせ約 RM143,000 を 11ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL 慈善基金に対し行った。寄付先の選定については、実際にかとれあ会役員が施設訪問、視察し、適切に使われていると判断された施設に支援をすることが提案されている。

### 新年会実行委員会（2020）

2020年1月11日（土）、16:30～20:30（会員限定）。天候に恵まれ、ゲートカウント約2,500名が来場、大きな事故等なく、無事終了した。

### 海外安全関係

- ・領事出張サービス：計 10 回、会館 GF にて「領事出張サービス」を実施し、当会会員への利便向上を図った。
- ・安全対策の啓蒙活動：計 6 回、「新入会員の集い」参集者を対象として、会館第 1 ホールにて「安全講習会」を実施し、マレーシアで安全に生活するためのアドバイスを行った。
- ・日本人会会館内における領事出張サービスや、生活安全に関わる講話等の実施については、利用会員や関係者から好評を頂いているところ、今般のマレーシア政府による活動制限令下での諸条件や、新たな生活・仕事様式への移行勧奨をも受け、如何なるサービス体系が適切・可能であるかも含め検討してまいりたい。

### 婦人部

- ・ブキナス身障者施設及び PJ チルドレンズスパスティックセンターの福祉施設にて一般婦人会員とかとれあ会役員によるボランティア活動が継続的に行われている。
- ・6～7 月、前年度のバザー収益金寄付先である施設と新規寄付候補先である施設への訪問を実施。
- ・11/10(日)、プルマン KLCC ホテルにて第 47 回日本人会チャリティバザー2019を開催。2000 名以上が来場。
- ・2/13(木)、日本人会にてドネーション贈呈式を行い、マレーシア国内 11 福祉施設に寄付。
- ・例年通り日本人会開催イベントに協力

### 全マレーシア日本人会

第 40 回目のマレーシア全日本人会連絡会が、2019 年 10 月 4 日（金）KL 日本人会にて開催された。マレーシアには 13 か所の日本人会があり、今回は 7 か所の代表が参加した。

## ② 会員数推移報告

（柳井事務局長）

配布資料参照。

**法人会員** 19 年 3 月末時点の 322 社から 20 年 3 月末 315 社へ、年間で 7 社 2.1%の減少。  
一昨年度の 9 社減からは若干減少数が少なくなった。

**個人会員** 19 年 3 月末時点で 1760 世帯（ご家族含んで 4285 名）から 20 年 3 月末時点で 1680 世帯（ご家族含んで 4076 名）と 80 世帯、4.5%、家族会員含め 209 名の減少。一昨年度の 47 世帯減から減少幅が増えている。

**個人会員のうち MM2H** 同じく 328 世帯から 313 世帯へと 15 世帯、4.6%の減少。家族会員含めると、年間で 17 名減。

**賛助会員** 372 世帯から 352 世帯へと会員数は年間 20 世帯、5.4%減少。減少幅は一昨年より縮小。

**学生会員** 11 名で同数。

会員種類	2019 年 3 月末会員数	2020 年 3 月末会員数	年間増減
法人会員	322 社	315 社	-7 社
個人会員 [内 MM2H]	1,760 世帯 (4,285 名) [328 世帯 (605 名)]	1,680 世帯 (4,076 名) [313 世帯 (588 名)]	-80 (-209) [-15 (-17)]
賛助会員	372 世帯 (878 名)	352 世帯 (681 名)	-20 (-197)
学生会員	11 名	11 名	±0

（ ）内は家族会員も含めた人数

## 【総括】

2019年度は、学生会員を除いて、その他の会員種別は会員数減少となった。法人会員の減少については、前年度同様に事業の縮小や撤退、或いは代表者の現地人化、また、個人会員の減少は、ここ数年の傾向であるご家族帯同者の減少・単身者の増加に加え、新型コロナ感染拡大に伴う帰国者の増加、新規赴任者の着任遅れも要因であると分析している。MM2Hの減少については、同じく新型コロナ感染拡大に伴う日本への緊急避難者の増加と、MM2Hビザの発給遅れが主要因と見ている。また、賛助会員の減少数は、前年度より若干の拡大傾向となっている。

個人会員、賛助会員共に世帯数の減少に比べご家族を含めた減少数が大きくなっているのは、昨年11月にご家族会員の中身の検証を行い、会則に従って20歳に達しているご子息を家族会員から外したことによるもの。この対象となったご子息は個人会員で71名、賛助会員で149名であった。

棒グラフについて、白抜きが毎月の入会数、黒塗りが毎月の退会数、つまり個人会員の年間の入退会者数を示しているが、月々の傾向は年間を通して前年度との大きな変化はない。但し年度末3月の退会者数は一昨年比13人減、新規入会者数も13人減でしたので、ネット減少数は一昨年末と同数となった。

折れ線グラフは、会員数の年毎の変化を表しており、一番上のグラフが各年度末3月時点の個人会員数。1996年に次いで2015年は歴史的に2番目のピークとなっており、今後数年、長期的な傾向として個人会員の減少が継続する可能性があるとしている。

以上のとおり説明が行われた。

## (3) 2019年度収支決算案の件（審議）及び監査報告

### ①決算案の件（当日配布資料参照）

（松山財務委員長）

#### 【事業収入】

計画比99.8%となった。未達の要因は下記のとおり。

3101～3127 4軒のテナントからの家賃がMCOにより遅延。全て5月入金済。

3311、3312 広告収入 ホームページ切替えにより、新規契約が取れていない為未達。NLは3月号を最後にデジタル化し、広告料収入は2月が最後。3月は最後の折込み広告収入のみ。

3319 4月に開講予定していた1学期の講座がMCOにより開講できず、入金分が無くなった。

#### 【事業支出】

予算消化率61.7%。

8002、8003、のクラブハウス、8006IT化の2つの大口プロジェクトの費用の見直し、削減、支払い先送り等の理由で支払実績が低いことが要因で会員事業収支は▲RM57kとなった。

クラブハウス改修プロジェクトでは、当初299万5千リングの支出を予定していたが、スプリンクラー設置が不要となったことやその他削減努力を行った結果、工事費が72万3千リングとなった。期末までに工事は完了、すでに67万1千リングは支払い済みだが、MCOの影響で工事の最終確認が遅れ、残金5万2千リングに関しては6月に支払済。

8006 ITプロジェクト関連は、予算46万4千リングを予定していたが、MCOの影響による開発の遅れにより約25万9千リングについては、2020年度の予算への持越しとなっている。

#### 【事業外収入】

3004 定期預金等の利息収入。9101 所得税の支払い時期ずれ等により、収支は約23万7千リングのプラス。

#### 【財務収支】

9002 MCOの影響か、3月は例年より退会者が多かった為、保証金の返却が予算を超えた。

【総合収支】マイナス予算であったが、結果的に約13万4千リングのプラスとなった。

#### 【損益計算書】

表の左列最下行：総収益は507万6千リング、右列には各種費用を集計、それらを差し引いた税引後当期余剰は、約63万3千リングという結果。

#### 【貸借対照表】

資産の部：総資産は、1,638万リングと、前年度末比58万リング増加。

流動資産全体：前年比現金収支13万4千リングの増加。固定資産は、減価償却費約47万8千リングが減少要因となった一方、クラブハウス改修工事とITプロジェクトの費用が3月末時点で工事の完

了検収が終了していなかったことで、建設仮勘定として約 87 万 1 千リングを計上している。前年度末比約 45 万リング増加となった。

負債の部：未払い金、会員預かり保証金の払い戻し等があり、前年度比約 5 万 4 千リング減少。

資本の部：2019 年度税引後当期余剰金約 63 万 3 千リングが前期繰越剰余金として計上されており、約 1,494 万 1 千リングとなった。

(備考：上記金額は千の単位で四捨五入)

## ②監査報告

(守護監事)

2020 年 6 月 16 日に木坂監事および守護監事 2 名によって KL 日本人会一般会計の監査を行い、「監査の結果、いずれの会計も財務諸表は適正性を損なうような重要な不正・誤謬は認められなかった」との報告があった。

2019 年決算については、異議なく、承認された。

## (4) 新会館建設積立金について

(大高クラブハウス将来計画小委員長)

下記 2 点が報告された。

1：2020 年 3 月 31 日終了事業年度の決算で、約 133 千リングの現金収支のプラス、約 734 千リングの税前利益という結果となり、クラブハウス将来計画小委員会より理事会に対し、同事業年度決算の現金収支プラス分の 133 千リングを新会館建設積立金に繰り入れることを提案、理事会で承認された。この結果、新会館建設積立金の残高は現在、約 270 万リングとなっている。

2：2019 年 6 月 29 日開催の KL 日本人会年次総会にて、2019 年 2 月末時点で RM2,569k の残高があった新会館建設積立金の、その額を限度とする取り崩しと、それに見合う定期預金の解約について承認を頂いたが、2019 年度に実施した CCC 取得のための改修・改装工事においては、監督官庁からスプリンクラーの設置工事は求められず、工事費が大幅に削減出来たことから、正式には 2020 年度の決算となるが、現状新会館建設積立金の取り崩しは無しとする見込みである。

## (5) JCKL 慈善基金活動報告

(松山財務委員長)

【JCKL 慈善基金：活動概要】

2019 年 11 月 10 日に第 47 回チャリティバザーを KL 日本人会婦人部かとれあ会が主担当となって開催し、その収益を主な原資として、2020 年 2 月 13 日に総額 RM143,404 を 11 箇所の福祉施設に寄付している。寄付先の個別施設名や寄付額など具体的内容は添付資料⑤-1 を参照。

【財務報告】2019 年 12 月 31 日終了事業年度の決算財務諸表について、添付資料⑤-2~4 (現金収支報告書、損益計算書、貸借対照表) 参照。

現金収支：慈善事業収入としてチャリティバザーの収入とその他活動の収入を合わせた慈善事業総収入は、約 21 万 3 千リング。慈善事業支出として 2018 年度 (前年度) チャリティバザー収益からの寄付拠出金が 15 万 6 千リング、それにチャリティバザー開催費用や慈善基金運営費用を加えた慈善事業総支出が 21 万 6 千リング。事業収支が▲3 千リングという結果となっており、総合収支は▲3 千リング。結果期末の JCKL 慈善基金の現預金残高は 20 万 5 千リングとなった。尚、本年 2 月にこの残高から 14 万 3 千リングの寄付を実施している。

【所得税免税申請の状況】2015 年 2 月 9 日の慈善基金設立から 2017 年 2 月 1 日迄の過年度分につき、財務省から昨年 5 月所得税法 127 条に基づく特認免税の許可が下りた。また、内国歳入庁 (IRB) より 12 月 5 日付で賦課決定通知書の取消通知を受領。これにより、JCKL 慈善基金設立より 4 年の歳月を要した免税問題は、全て解決した。在マレーシア日本国大使館の皆様には、多大なご協力、ご尽力に感謝申し上げます。

以上のとおり報告がなされた。

岡部会長より、慈善基金の免税申請についてご助力頂いた日本国大使館さらに関係各位に対し御礼が述べられた。また、かたれあ会の皆さま始め、慈善活動にご尽力を頂き、本会の目的の一つである日馬の友好親善にご貢献を頂いている皆様方に、感謝の意が述べられた。

(6) 2020 年度予算案の件 (松山財務委員長)

当日配布資料参照。以下の通り説明が行われた。

【会員事業収入】

新型コロナウイルスの影響で、昨年度実績比約 83 万 3 千リンギ減、約 388 万 7 千リンギの減収計画減収の主な原因は 4 点。

3001～3002 会費、入会金収入：会員はここ数年の減少傾向に加え、長引く MCO の影響で新規入会者の減少を考慮、法人会員▲3%、個人会員▲5%、賛助会員▲7%の予想。

3101～3127 テナント家賃関連収入：6 月までの MCO 期間の一部減免に応じている。オレックス、和カフェの退居の影響が反映されている。和カフェは 8 月から新規経営会社による再開をしているが、オレックス後の空店舗については、来年度入居希望が出ている。

3312 NL 広告収入費：NL のデジタル化に伴い、折り込み広告収入が無くなった。

3206, 3319, 3320, 3321、講習会イベント等は、上半期は、新型コロナウイルスの影響で活動の自粛しているため、下期のみの収入見込みとしている。これらの活動は、収入に対し、支出が倍額ほどある見込みで、活動自粛が長引いたとしても収支の悪化要因とはならない。

【会員事業支出】

約 410 万 9 千リンギでの計画。昨年度実績比、約 66 万 8 千リンギの支出減。収支は約 22 万 5 千リンギの持ち出しであり、赤字予算となっている。

支出減の主な原因は、8006 IT プロジェクトの完成遅延による期ずれ約 25 万 9 千リンギが今年度に持ち越されている為であるが、この分を除くと収支はプラスの予算計画となっている。

5010 機器補修維持費：IT 化プロジェクト関連にて、新規会員システムの年間維持管理費が発生。

6022 その他イベント費用として、会員の皆様にご利用いただける「テナント応援クーポン」約 8 万 6 千リンギを織り込んだことによるもの。

事業外収支、財務収支を加味した総合収支は約 15 万リンギのマイナス予算となっており、過年度の留保利益にて賄う予定。

(備考：上記金額は千の単位で四捨五入)

2020 年度予算案は、質問・異議なく、原案の通り承認された。

(7) 2020 年度日本人会理事選挙結果報告 (守護選挙管理委員長)

会則・選挙に関する規則に従って選出理事候補の推薦を受け付け、既に会員に通知した通り、法人会員登録名義人から理事 11 名、個人会員から理事 4 名が当選したことが報告された。

(i) 法人会員登録名義人からの理事 (定員 11 名)

①	山本 直子	Ajinomoto (Malaysia) Bhd
②	伊藤 紀子	Mizuho Bank, Ltd., Labuan Branch
③	松山 琢磨	MUFG Bank (Malaysia) Bhd
④	宮本 彦次郎	Marubeni Corporation, Kuala Lumpur Branch
⑤	岡本 豊勝	Panasonic Manufacturing Malaysia Bhd
⑥	市川 元一	Mitsubishi Corporation
⑦	児島 大司	Mitsui & Co. (Malaysia) Sdn Bhd
⑧	堀口 勝人	Sumitomo Corporation Asia & Oceania Pte Ltd., KL Branch
⑨	甲斐中 哲也	Sumitomo Mitsui Banking Corporation Malaysia Bhd
⑩	岡部 養明	Tokio Marine Life Insurance Malaysia Bhd
⑪	小沢 史朗	Hong Leong Assurance Bhd

(会員番号順、敬称略)

尚、Mitsubishi Corporation 市川元一氏は、人事異動となり、ご後任須田真紀氏へ交代、7 月



定例理事会承認を得ている。また、Ajinomoto Malaysia Bhd の山本直子氏は、人事異動となり、ご後任安部智晴氏へ交代、並びに、Marubeni Corporation 宮本彦次郎氏は登録名義人の交代があり、團雅義氏へ交代することについて、それぞれ 8 月定例理事会にて承認を得ていることが報告された。

(ii)個人会員からの理事（定員 4 名）

①	藤井純一
②	熊谷敦子
③	川村延義
④	清水裕之

（会員番号順、敬称略）

(8) 2020 年度新会長選出報告 （甲斐中総務委員長）

選出理事 15 名により構成される第 1 回暫定理事会（7 月 21 日開催）にて新会長を互選し、岡部 養明氏（Tokio Marine Life Insurance Malaysia Bhd）が全会一致で選出されたことが報告された。

(9) 2020 年度任命理事氏名の報告 （岡部新会長）

第 2 回暫定理事会にて、次の 13 名が任命理事に選出されたことが報告された。（敬称略・順不同）

(i) 個人会員又は法人会員登録名義人の中から

1	伊藤 宜広	Itochu Malaysia Sdn Bhd	法人登録名義人
2	大高 広之	Kajima (Malaysia) Sdn Bhd	法人登録名義人
3	小田 竜介	Hakuhodo (M) Sdn Bhd	法人登録名義人
4	小野澤 麻衣	JETRO Kuala Lumpur	法人登録名義人
5	香取 龍太	Sojitz Corporation	法人登録名義人
6	小寺 博之	Aeon Co (M) Bhd	法人登録名義人
7	阪口 智弘	Japan Airlines Co Ltd	法人登録名義人
8	定元 威一郎	Toyota Tsusho (Malaysia) Sdn Bhd	法人登録名義人
9	高柳 充博	Hitachi Asia (Malaysia) Sdn Bhd	法人登録名義人
10	淵上 靖	UMW Toyota Motor Sdn Bhd	法人登録名義人
11	瀧澤 征彦	Japan International Cooperation Agency (JICA)	法人登録名義人
12	吉田 敏彦	MC Tohcello (Malaysia) Sdn Bhd	法人登録名義人

(ii) 在マレーシア日本国大使館から

1	濱本 博樹	Embassy of Japan	個人会員
---	-------	------------------	------

(10) 岡部新会長の挨拶（要旨）

このたび 2020 年度のクアラルンプール日本人会会長を務めさせて頂く事になりました岡部でございます。3 月にご帰任された前任の中山会長の後を務めてまいりましたが、引き続き宜しくお願い申し上げます。最初に、日頃から日本人会の運営にご協力を頂いている皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

今年は年初よりの新型コロナウイルスの感染拡大、そして 3 月中旬より始まりました活動制限令により、当会の活動も大きな影響を受けております。半世紀以上の歴史を誇る当会の伝統を守り発展させるため、在マレーシア日本国大使館及び関係各機関のご支援のもと、理事会および会員各位のご協力を仰ぎつつ、当会の運営に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

日本人会では、三大イベントと呼ばれているイベントがございますが、今年は例年とは大きく異なる状況となっています。例年は 3 万人以上の来場者で盛況となる、最大の行事である盆踊り大会は、誠に残念ながら中止となりました。



また、11月には婦人部・かたれあ会が中心となり、マレーシアの恵まれない方々への寄付金活動として、チャリティバザーを計画しておりますが、例年同様の規模での開催は不可能な状況です。48年間育まれてきた想いを繋ぐため、何らかの形で開催したいと、バザー実行委員会を中心に検討を進めております。開催に向けて会員の皆さまの更なるご協力をお願いすると同時に、開催の暁には是非皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

年明け1月の新年会の開催可否は、現時点では定かではありません。会員の皆さまに新年気分を味わって頂くとともに、各部・各同好会の皆様に日頃の活動の成果をご披露頂く機会が設けられることを、切に願っております。

総会の冒頭の事業報告で触れさせて頂いた通り、当会の運営に当たっては理事、顧問、監事、管財人を始め、多くの方々から惜しみないご協力を頂き、日本人会の会則にある当会の目的、即ち「会員相互の親睦、互助を図り、日本とマレーシアの友好・親善の促進に貢献する」に沿った活動をして頂いています。今後も当地の在留邦人の中心的コミュニティとして、先輩諸氏より引き継いだ「相互互助」の精神と歴史を引き継いで参りたいと思います。

一方、時代の変遷と共に、当会は大きな環境変化の中にあります。財務面にて、また理事の派遣等による運営支援の面にて、当会を発足当初より支えて頂いております法人会員の企業におかれては、今般のパンデミックの影響を大きく受けています。当会が今後も長く持続可能な発展を続けるためには、今日的な環境に即した運営に進化して行くことが肝要だと考えています。会員の皆さまと知恵を出し合い、日本人会の新しいスタイルを模索して参りたいと思いますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、クアラルンプール日本人会が、より多くの会員の皆様に長く親しまれる会として発展していくことを祈念し、私の挨拶といたします。

(11) 質疑応答  
特になし

■ 閉会の辞

(柳井事務局長)

以上